PROGUARD

スーパープロガードフッ素
スーパープロガードフッ素遮熱

1液反応硬化型弱溶剤系フッ素樹脂塗料

トータルリフォーム プランニング
岩建ホームテック

耐候性

耐汚染性

下地多様性

低臭性

作業性良好

スーパープロガードフッ素とは?

優れた仕上がり性

スーパープロガードフッ素は鮮鋭性･高光沢性を有する塗膜です。タレを生じる事無く良好なレベリング性を示し、施工完了時に非常に鮮やかな光沢を備えます。従来の溶剤型2液型フッ素樹脂と同等もしくはそれ以上の性能あり。期待年数15年～20年程度。

1液弱溶剤シリコン　　スーパープロガードフッ素

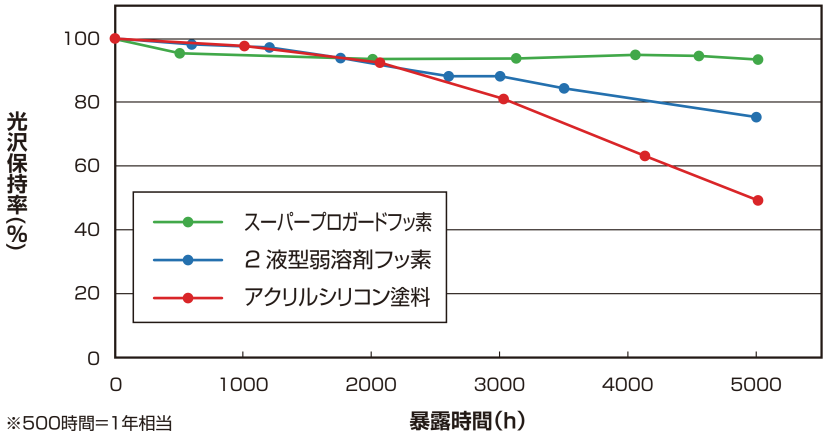
優れた作業性

スーパープロガードフッ素を用いて施工した物件は、1液タイプで非常に作業性が良く、効率的な作業環境をもたらす事が可能です。また、実際に仕上がった建物は、長期にわたり耐久性を維持し、いつまでも塗りたての光沢感を維持しています。

優れた耐候性

耐候性1種相当レベルの耐候性を有し、2液型弱溶剤フッ素樹脂塗料と比較しても遜色ありません。

キセノンウェザーメーターによる暴露試験



※500時間=1年相当

※耐候性1種相当の耐候性レベルとは…?(例:JIS　K　5658:建築用耐候性上塗り塗料)

屋外暴露	①暴露2年で光沢保持率60%以上 ②白亜化の等級が1以下
キセノンウェザーメーター	①2500時間で光沢保持率80%以上 ②白亜化の等級が1以下

用途別塗装フローチャート

被塗物	リシン･吹付タイル等	サイディングボード等（建材塗替）	コロニアル屋根等	トタン屋根･金属下地等
下塗り	ストロングサーフTU	ストロングプライマーTU	ストロングプライマーTU	遮熱ストロング錆止プライマー
上塗り①	スーパープロガードフッ素 スーパープロガードフッ素遮熱	スーパープロガードフッ素 スーパープロガードフッ素遮熱	スーパープロガードフッ素 スーパープロガードフッ素遮熱	スーパープロガードフッ素 スーパープロガードフッ素遮熱
上塗り②	スーパープロガードフッ素 スーパープロガードフッ素遮熱	スーパープロガードフッ素 スーパープロガードフッ素遮熱	スーパープロガードフッ素 スーパープロガードフッ素遮熱	スーパープロガードフッ素 スーパープロガードフッ素遮熱

用途別塗装仕様

リシン･吹付タイル等

工程	塗料	塗装回数	塗布量／回	工程間隔(23℃)	塗装方法	希釈(%)
素地調整	激しいカビや汚れについてはケレン等で除去を行う。 高圧洗浄機を使用して汚れや苔などを洗い流す。					
下塗り	ストロングサーフTU	1	0.3～0.7kg/㎡/回	1時間以上	ウールローラー リシンガン	3～7%(清水)
上塗り	スーパープロガードフッ素 スーパープロガードフッ素遮熱	2	0.12～0.15kg/㎡/回	8時間以上3日以内	ハケ･ローラー	塗料用Aシンナー 5～10%

サイディングボード等（建材塗替）

工程	塗料	塗装回数	塗布量／回	工程間隔(23℃)	塗装方法	希釈(%)
素地調整	チョーキングや劣化塗膜を高圧水洗によって取り除き乾燥させる。					
下塗り	ストロングプライマーTU	1～2	0.1～0.2kg/㎡/回	2時間以上3日以内	ハケ･ローラー	―
上塗り	スーパープロガードフッ素 スーパープロガードフッ素遮熱	2	0.12～0.15kg/㎡/回	8時間以上3日以内	ハケ･ローラー	塗料用Aシンナー 5～10%

コロニアル屋根等

工程	塗料	塗装回数	塗布量／回	工程間隔(23℃)	塗装方法	希釈(%)
素地調整	ホコリ、チョーキング、汚れ、劣化塗膜等を高圧水洗にて除去し乾燥させる。					
下塗り	ストロングプライマーTU	1～2	0.1～0.2kg/㎡/回	2時間以上3日以内	ハケ･ローラー	―
上塗り	スーパープロガードフッ素 スーパープロガードフッ素遮熱	2	0.12～0.15kg/㎡/回	8時間以上3日以内	ハケ･ローラー	塗料用Aシンナー 5～10%

トタン屋根・金属下地等

※塩ビ鋼板は不可

工程	塗料	塗装回数	塗布量／回	工程間隔(23℃)	塗装方法	希釈(%)
素地調整	活膜は残し、錆の発生部分及び劣化塗膜を電動工具やケレンにより除去する。 ゴミ、ホコリは高圧洗浄器等を用いて取り除き乾燥させる。					
下塗り	遮熱ストロング錆止プライマー	1	0.16kg/㎡/回	6時間以上48時間以内	ハケ･ローラー	エポキシシンナー 0～10%
上塗り	スーパープロガードフッ素 スーパープロガードフッ素遮熱	2	0.12～0.15kg/㎡/回	8時間以上3日以内	ハケ･ローラー	塗料用Aシンナー 5～10%

※希釈は指定した希釈剤を加え、良く撹拌してからご使用下さい。　※高圧洗浄後は十分な乾燥を行って下さい。
※上記の各数値は全て標準値です。下地の状態、形状、施工条件、気象条件などにより多少の幅を生じることがあります。　※ローラーは塗装に適したローラーをご使用下さい。

荷姿

スーパープロガードフッ素	主剤 15kg(18ℓ石油缶) 各色調色 ツヤ有(常備色は無し)	50～62㎡／缶
スーパープロガード フッ素遮熱	主剤 15kg(18ℓ石油缶) 各色調色 ツヤ有(常備色は無し)	50～62㎡／缶
スーパープロガード プライマー	主剤 7kg(18ℓ石油缶) 硬化剤 1kg(1ℓ)	53～80㎡／セット
ストロングプライマーTU	1液 14kg(18ℓ石油缶)	70～140㎡／缶
遮熱ストロング 錆止めプライマー	主剤 15kg(18ℓ石油缶) グレー色粘稠 硬化剤3kg(4ℓ角缶)褐色粘着液	112～150㎡／セット

性状

塗装間隔			
	5～15℃	15～25℃	25～35℃
塗装間隔	8時間～5日以内	5時間～3日以内	3時間～3日以内

施工上の注意事項･要点

●使用時は、必ず電動撹拌機を使用。よく攪拌･混合し使用して下さい。
●過希釈の場合、カブリ･ハジキ･光沢低下などの不具合を生じる場合がありますので所定の希釈率を必ず守って下さい。また、同一現場で一度定めた希釈率は同一にして下さい。
●塗装後1～2日は、塗装表面に若干の粘着性が残存しますので、粉じんなどの付着にご注意下さい。尚、上塗り性、塗膜性能に支障はありません。
●塗料を保管する場合には必ず直射日光の当たらない、湿気の少ない屋内に保管して下さい。保管や施工時の換気、火気には十分注意して下さい。
●汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料は、同一塗料　同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をして下さい。
●吸い込みが激しい下地の場合は、上塗り塗料に合った専用下塗り剤を2～3回塗布して下さい。
●旧塗膜がシリコン系、フッ素系塗料や活膜ウレタン系の場合には、密着しない可能性がありますので、必ずテスト施工を行った上でご使用下さい。
●施工時の気温が5℃以下、湿度85%以上または換気が十分でなく結露が考えられる場合は、塗装を避けて下さい。
●飛散防止のため養生を行って下さい。色合いによっては降雨、結露により濡れ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。塗膜性能上問題はありません。
●塗装後、24時間以内に降雨、結露がありますと白化やしみが残る場合があります。
●低温、高湿度、通風の無い場合には白化やしみが残る場合があります。乾燥条件によって塗膜に粘着を感じることがありますが、時間とともに粘着感はなくなり、塗膜性能上問題はありません。
●笠木、天端など、長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れ等の発生する場合があります。
●たえず結露が発生するような用途、場所での使用は避けて下さい。
●蓄熱されやすい素材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディングなど)断熱構造が強い場合で、旧塗膜が弾性リシンや弾性スタッコ、複層弾性のアクリルトップなどの弾性塗料の場合、環境条件によって、水や温度の影響で塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると、更に膨れが拡大することがありますので、ケレンで除去するなどの入念な下地処理を行って下さい。
●素地での乾燥は十分に行って下さい。(含水率10%以下、pH9以下)
●ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面、外部の素地において巣穴、段差などがある場合、合成樹脂エマルジョン入りセメント系下地調整剤などで処理して下さい。
●表面のゴミ、ほこりなどは除去し、目ちがい、ジャンカ、コールドジョイントなどは合成樹脂エマルション入りセメントモルタルで平滑にして下さい。
●新設時はエフロ･レイタンス･ゴミ･汚れなどワイヤーブラシ･サンドペーパー･ウエスを用いて除去･清掃し、含水率10%以下、pH9以下で施工して下さい。
●新設の押出形成セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り剤として、浸透性のあるシーラーで処理して下さい。
●新設仕様の場合は、溶剤系シーラーを塗装して下さい。
●下地･旧塗膜がぜい弱な場合は、溶剤系シーラーをお使い下さい。
●ハケ塗り仕上げとローラー仕上げは希釈を少なくして塗装して下さい。
●ローラー塗の場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げて下さい。ローラー目により、色合いが異なって見えることがあります。
●下塗り剤の微弾性機能は、塗布量によって異なりますので、所定の塗布量を塗装して下さい。
●各工程の塗装間隔は、所定の塗り重ね乾燥時間を厳守して下さい。
●シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、剥離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので、行わないで下さい。やむを得ず行う場合は、適切な下塗り処理を行ってから塗装して下さい。
●被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発揮されない場合があります。
●旧塗膜に発生した藻、カビは洗浄などで必ず除去し清浄な面として下さい。付着素材を起こすおそれがあります。
●既存塗膜の剥離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装使用でパターン合わせを行って下さい。
●塩ビゾル鋼板の上の塗装は避けて下さい。
●乾燥した塗膜に付いた汚れは、シンナーなどで拭かず、中性洗剤で洗浄して下さい。
●つや調度品は、被塗物の形状や素地の状態、膜厚や色合いなどにより、実際のツヤと若干違って見える場合があります。見本版、またはあらかじめ試し塗をして確認して下さい。

取扱い安全注意事項

●本来の用途以外に使用しないで下さい。
●使用前に取扱説明書を理解して、取り扱って下さい。
●粉じん／ガス／蒸気／スプレーなどを吸入しないで下さい。
●必要に応じて個人用保護具を使用して下さい。
●飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡して下さい。口をすすいで下さい。
●緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
●容器からこぼれた時には、砂などを被布した後処理して下さい。
●施錠して子どもの手の届かない所に保管して下さい。
●直射日光や水漏れは厳禁です。
●塗料などの缶の積み重ねは3段までとして下さい。
●日光から遮断し、換気のよい場所で保管して下さい。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないで下さい。
●内容物／容器を破棄する時には、国／地方自治体の規制に従って産業廃棄物として破棄して下さい。
□詳細な内容、表示例以外の事項については、製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。
□本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合にご相談下さい。

株式会社 岩建ホームテック
http://www.iwaken-ht.co.jp
本社:〒344-0038
埼玉県春日部市豊町2-10-14
TEL:0120-38-3970
FAX:048-884-8332

VEGETABLE OIL INK　古紙100%再生紙

※製品改良のため、予告なく仕様、性能、カタログ内容を変更する場合があります。